

第3章

英語単語辞書

英語単語辞書は英語単語辞書レコードを見出し表記のアルファベット順に並べたものである。英語単語辞書レコードは、レコード番号と、見出し情報、文法情報、意味情報、運用・その他情報、および管理情報から構成される。英語単語辞書の基本的な役割は、英語単語と概念の対応関係を記述し、この対応関係が成り立つときの文法的特性を与えることである。

===== [英語単語辞書レコードの構造] =====	
<レコード番号>	: レコードタイプと識別番号
<見出し情報>	: (→3. 1節)
<単語見出し>	: 規則変化語は原形語尾つき (→3. 1. 1節)
<不変化部-接続属性対>	: 構成語の不変化部とその接続属性の対の列 (→3. 1. 2節, 表3-1, 3-2)
<音節区切り>	: 音節の区切りに'/'を挿入した文字列(単一語のみ→3. 1. 3節)
<発音>	: 単語見出しのIPA (International Phonetic Alphabet) による発音とアクセント(単一語のみ→3. 1. 3節)
<文法情報>	: (→3. 2節)
<品詞>	: 品詞 (→3. 2. 1節, 表3-3)
<構文木>	: 構成語の構文構造(複合語・慣用句のみ→3. 2. 2節)
<語形・語形変化情報>	: (→3. 2. 3節)
<語形情報>	: 語形 (→表3-4, 3-5)
<語形変化情報>	: 語形変化パターン (→表3-6, 3-7, 3-8, 3-9)
<文法属性>	: (動詞・形容詞・副詞・名詞のみ →3. 2. 4節, 表3-10, 3-11, 3-12, 3-13, 3-14)
<文型情報>	: (動詞・形容詞・名詞のみ→3. 2. 4節, 表3-10, 3-11, 3-12, 3-15)
<機能・位置>	: (名詞・形容詞・限定詞・副詞のみ→3. 2. 4節, 表3-11, 3-12, 3-14)
<機能語情報>	: 機能語情報(機能語のみ→3. 2. 4節, 表3-16, 3-17, 3-18, 3-19, 3-20)
<意味情報>	: (→3. 3節)
<概念識別子>	: 概念の同一性を示す番号 (→3. 3. 1節)
<概念見出し>	: 概念を代表する単語見出し(内容語のみ→3. 3. 2節)
<日本語概念見出し>	: 概念を代表する日本語単語見出し
<英語概念見出し>	: 概念を代表する英語単語見出し
<概念説明>	: 概念の文章による説明(内容語のみ→3. 3. 2節)
<日本語概念説明>	: 概念の日本語による説明
<英語概念説明>	: 概念の英語による説明
<運用・その他情報>	: (→3. 4節)
<用法>	: 語の用法 (→表3-21)
<頻度>	: 出現頻度 (→表3-22)
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	: 更新日付等の管理情報

===== [英語単語辞書レコードの例(名詞)] =====	
<レコード番号>	EWD1116992
<見出し情報>	
<単語見出し>	dictionary
<不変化部-接続属性対>	dic tionar(語頭子音名詞, 名詞不変化部分 (後接y/ies))
<音節区切り>	dic /tion /ar /y
<発音>	d' ikSxen`eri:
<文法情報>	
<品詞>	普通名詞
<構文木>	
<語形・語形変化情報>	
<語形情報>	名詞不変化部分
<語形変化情報>	y変化型
<文法属性>	可算; 中性名詞; 必ず冠詞をとる
<文型情報>	
<機能・位置>	
<機能語情報>	
<意味情報>	
<概念識別子>	0f6f4b
<概念見出し>	
<日本語概念見出し>	辞書 [ジショ]
<英語概念見出し>	dictionary
<概念説明>	
<日本語概念説明>	言葉を類別して集めた書物
<英語概念説明>	a reference book providing a list of words in some stated order, with their forms, pronunciations, meaning and uses
<運用・その他情報>	
<用法>	
<頻度>	15/73
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	2/15/95

===== [英語単語辞書レコードの例 (動詞)] =====	
<レコード番号>	EWD1364642
<見出し情報>	
<単語見出し>	supply
<不変化部-接続属性対>	suppl (語頭子音動詞, y変化型動詞不変化部分)
<音節区切り>	sup/ply
<発音>	sXep1' ai
<文法情報>	
<品詞>	動詞
<構文木>	
<語形・語形変化情報>	
<語形情報>	動詞不変化部分
<語形変化情報>	y変化型
<文法属性>	
<文型情報>	直接目的語 (D0) を必ずとる; D0=名詞句; 特定前置詞句(to~)をとる
<機能・位置>	
<機能語情報>	
<意味情報>	
<概念識別子>	0ec944
<概念見出し>	
<日本語概念見出し>	支給する [シキユウ・スル]
<英語概念見出し>	supply
<概念説明>	
<日本語概念説明>	物をあてがう
<英語概念説明>	to supply goods
<運用・その他情報>	
<用法>	
<頻度>	122/234
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	3/4/93
=====	

===== [英語単語辞書レコードの例 (形容詞)] =====	
<レコード番号>	EWD1334265
<見出し情報>	
<単語見出し>	short
<不変部-接続属性対>	short (語頭子音形容詞, er変化型形容詞)
<音節区切り>	short
<発音>	SXc:Rt
<文法情報>	
<品詞>	形容詞
<構文木>	
<語形・語形変化情報>	
<語形情報>	形容詞原級
<語形変化情報>	er変化型形容詞
<文法属性>	
<文型情報>	特定前置詞句(of~)をとる
<機能・位置>	
<機能語情報>	
<意味情報>	
<概念識別子>	10096e
<概念見出し>	
<日本語概念見出し>	乏しい [トボシ・イ]
<英語概念見出し>	scarce
<概念説明>	
<日本語概念説明>	十分でないさま
<英語概念説明>	insufficient
<運用・その他情報>	
<用法>	
<頻度>	45/431
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	2/13/89

===== [英語単語辞書レコードの例 (副詞)] =====	
<レコード番号>	EWD1345229
<見出し情報>	
<単語見出し>	soon
<不変化部-接続属性対>	soon (語頭子音副詞, er変化型副詞)
<音節区切り>	soon
<発音>	:su:n
<文法情報>	
<品詞>	副詞
<構文木>	
<語形・語形変化情報>	
<語形情報>	副詞原級
<語形変化情報>	er変化型副詞
<文法属性>	
<文型情報>	
<機能・位置>	中位 (本動詞の直前、またはbe動詞の直後) ; 後位 (目的語・補語の後、なければ動詞の直後) ; 動詞を修飾する
<機能語情報>	
<意味情報>	
<概念識別子>	0ea98d
<概念見出し>	
<日本語概念見出し>	近々 [チカヂカ]
<英語概念見出し>	soon
<概念説明>	
<日本語概念説明>	やがて
<英語概念説明>	of a time period, occurring in the near future
<運用・その他情報>	
<用法>	
<頻度>	209/892
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	1/21/92
=====	

===== [英語単語辞書レコードの例 (動詞句)] =====	
<レコード番号>	EWD1295652
<見出し情報>	
<単語見出し>	put *one's confidence in *someone
<不変化部-接続属性対>	put (語頭子音動詞, s-不規則変化型動詞不変化部分) / *suf (*, *) / (空白, 空白) / *one's (代名詞, 人称代名詞 所有格) / (空白, 空白) / confidence (語頭子音名詞, 名詞単数形) / (空白, 空白) / in (不定冠詞非前接語, 前置詞) / (空白, 空白) / *someone (*, *)
<音節区切り>	
<発音>	
<文法情報>	
<品詞>	動詞句
<構文木>	動詞(動詞; 動詞原形; s-不規則変化型; 主要語(put) / [動詞語尾(*suf)]) / 記号() / 普通名詞; 直接目的語; 不可算(人称代名詞; 所有格(*one's) / 記号() / 名詞単数形; 必ず単数形で; 不可算(confidence)) / 記号() / 前置詞句(前置詞(in) / 記号() / {名詞句 (*someone)})
<語形・語形変化情報>	
<語形情報>	
<語形変化情報>	
<文法属性>	
<文型情報>	
<機能・位置>	
<機能語情報>	
<意味情報>	
<概念識別子>	271f65
<概念見出し>	
<日本語概念見出し>	
<英語概念見出し>	place \$one's confidence in
<概念説明>	
<日本語概念説明>	
<英語概念説明>	to trust (a person)
<運用・その他情報>	
<用法>	
<頻度>	0/0
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	7/9/94
=====	

===== [英語単語辞書レコードの例(句動詞)] =====	
<レコード番号>	EWD1097635
<見出し情報>	
<単語見出し>	cool down
<不変化部-接続属性対>	cool (語頭子音動詞, s-ed変化型動詞不変化部分) / *suf(*,*) / (空白, 空白) / down (不定冠詞非前接語, 副詞小辞)
<音節区切り>	
<発音>	
<文法情報>	
<品詞>	動詞
<構文木>	動詞(動詞;動詞原形;s-ed変化型動詞;主要語(cool) / [動詞語尾(*suf)]) / 記号() / 副詞小辞(down)
<語形・語形変化情報>	
<語形情報>	
<語形変化情報>	
<文法属性>	
<文型情報>	自動詞
<機能・位置>	
<機能語情報>	
<意味情報>	
<概念識別子>	266544
<概念見出し>	
<日本語概念見出し>	
<英語概念見出し>	cool down
<概念説明>	
<日本語概念説明>	
<英語概念説明>	to become cool
<運用・その他情報>	
<用法>	
<頻度>	0/0
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	7/9/94

3.1 見出し情報

見出し情報は、単語見出し・不変部-接続属性対・音節区切り・発音からなっている。見出しとしては、日常生活で用いられる単語、一般化した専門用語や固有名詞、略語、および熟語や成句などが収録される。

3.1.1 単語見出し

単語見出しは、冊子体辞書における見出しにあたり、ある単語と他の単語との識別を人間が行ない易くするためのものである。規則変化する語については、原形、あるいは単数形であるが、'man/men', 'go/went/gone' のように不規則変化する語については、各々の不規則変化形が独立した単語見出しとなる。単語見出しの異なり数を単語辞書の語数という。

外来語の単語見出しに含まれるアクセント記号は、アクセント記号を付与する文字の左にアクセント記号を挿入することによって示す。単語見出しに現われるアクセント記号には、以下のものがある。

アクセントの種類	アクセント記号	単語見出しの例	
アクセサン・テギュ	(´)	@<	attach@<e case
アクセサン・グラヴ	(`)	@>	pret-@>a-poter
アクセサン・シルコンフレクス	(^)	@^	ch@^ateau
テュー	(~)	@@	se@@nior
ウムラウト(トレマ)	(¨)	@:	M@:archen
セディーユ		@&	gar@&con

3.1.2 不変部-接続属性対

不変部-接続属性対は、単語見出しを構成語に区切り、各構成語の表記と接続属性を対にして、並べたものである。不変部-接続属性対は、文解析において最初のプロセスである形態素解析で、文を構成する単語を見つけだすための辞書引きに使用され、また、文生成では最終的に文を作りあげる形態素生成で使用される。

各構成語の表記は、単語の不変部分のみでできている。単語の不変部分とは、規則変化する語が語形変化する場合の純粋に文字列としての不変部分であり、必ずしも語根を意味しない。例えば、'wife/wives' は規則変化として扱われており、その不変部分は、'wi' である。接続属性は、その語が使用される時の隣接単語との接続制約を示す記号である。接続属性は、左接続属性と右接続属性から構成されるが、詳細は、後で述べる。

不変部-接続属性対を表す場合には、

表記(左接続属性名、右接続属性名)/...

の形式を用いる。

単語見出しが複合語あるいは慣用句の場合は、不変化部-接続属性対が'/'で区切られた2つ以上の列で記述される。複合語・慣用句とは、二つ以上の語からなって、全体として一つの構文要素となり、かつ、個々の構成語の概念からは導かれない概念をもつものをいう。なお、単語見出しの語末が規則変化する場合、末尾の語尾は接続属性により復元可能なので省略される。

構成語間には、特に表記の特定されない語句が挿入される可能性がある。このような場合、構成語見出しの表記が不定の部分は、単語クラス名によってその位置に来る語群を指示する。単語クラス名'*'は全ての単語を代表する特殊な単語クラス名である。現在、英語単語辞書に記述されている単語クラス名は、

*	*someone's
*one	*something's
*someone	*oneself
*something	*be
*somewhere	*do
*one's	*suf

である。その他の語群を指示する単語クラス名は、必要により登録することができる。また、接続属性が不定の場合は、左右接続属性名の代わりに'*'を用いる。外来語、固有名詞、固有名詞から派生した普通名詞 (ex. 'New Mexican'), 機能語相当語 (ex. 'according to'), 一般的な構文構造から外れるイディオム (ex. 'on the cheap') は、構成語に分割せず、単一語として、扱われる。

接続属性は、形態素間の接続可能性(ある形態素がどの形態素と隣接することができるか)という観点からみた属性である。

接続属性を考えるにあたっては次のことを考慮している。

- (1) 単語間の接続の可否を表す接続文法規則の数を少なくする。
- (2) 熟語や成句を単語辞書に入れやすくする。

接続属性には、単語の接続性を右と左に分離して考える二方向接続文法を採用しており、1つの単語は接続属性として、左側接続属性(表3-1)と右側接続属性(表3-2)を持つ。接続規則には、左側接続属性と右側接続属性の間の接続の可否についての情報が書かれている。この方式は、単語のもつ属性を接続という観点から考えた時に、単語の右側に接続可能な単語のグループと、左側に接続可能な単語のグループが違ってくるため、接続属性を左右に分離しておけば、属性の種類を少なくできるという考えに基づいている。接続属性が少なくなれば、接続規則の数も少なくてすむことになる。

この接続属性を用いて、形態素間の接続可能性を示す接続規則が作成され、形態素解析や生成で使用される。

接続規則の例

```

EEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEE
LLLLLLLLLLLLLLLLSSSSSSSSSSSSSS
BNNPPAADDVVTTWNNNNNNNNNFFFF
11212131312121123456781238

```

```

ERB1  @@@@@@@@@@@@@@@@@@.....
ERR1  @o...o.o.o.o.....
ERR2  @.o...o.o.o.o.....
ERR3  @oo.oooooo.....
ECF1  .@@.@@@@@.....
ECN1  @ooooooooooooo@.....@...
ECN2  @ooooooooooooo@.....@..
ECN3  @.....@.....
ECN4  @.....@.....
ECN5  @.....@.....
ECN6  @ooooooooooooo.....@.o...
ECN7  @ooooooooooooo.....@.@...
ECN8  @ooooooooooooo.....@@...

```

[空白をはさまない接続可(@):空白をはさむ接続可(o):接続不可(.)]

3.1.3 音節区切りと発音

音節区切りおよび発音は、単一語についてのみ記述されている。音節区切りは、単語見出しに音節の区切りを示す'/'を挿入した文字列が記述されており、ハイフネーションを行なうなどのために使用される。単語見出しに'/'という文字が含まれる場合、音節区切りにおいては'//'で示される。ハイフンの前後には音節区切りは入れない。英語アルファベット読み下しする略語には音節区切りは入れない。EDR英語単語辞書における音節区切りの記述例を以下に示す。

音節区切りの例

単語見出し	音節区切り
represent	rep/re/sent
study	stud/y
X-ray	X-ray
FORTRAN	FOR/TRAN
CPU	CPU
and/or	and//or

発音は、単語見出しの発音とアクセントを記述している。英語の発音には地域や世代による違いがある上、実際の発話時には省略作用、同化、連結、弱化等の作用による変動がみられるが、規範となる発音を1つだけ記述してある。発音表記法としては、IPA(International Phonetic Alphabet, 国際音声字母)を用いているが、計算機上での表示や入力等の便宜のため、一部の発音記号は、アルファベット文字の組み合わせによる代用表記を用いて表現する。

アクセントの位置は、第1アクセントのある母音の左に''を、第2アクセントのある母音の左に'''を付与することによって示す。

日本で出版されている冊子体辞書は、IPAの簡略表記を基本とするものが多い。EDR英語単語辞書における発音の例を以下に示す。発音情報において、()はその音がごく弱く発音されたり消失したりすることを示す。

発音の例

発音記号 (代用表記)	例 (単語見出し)	例 (発音表記)
子音		
p	pen	pen
b	back	bXak
t	tea	ti:
d	day	dei
k	key	ki:
g	gay	gei
tS	cheer	tSiXeR
dY	jump	dYXvmp
f	few	fju:
v	view	vju:
Th	thing	ThiN
TH	then	THen
s	soon	su:n
z	zig	zig
S	fishing	f' iSiN
Y	pleasure	pl' eYXeR
h	hot	hAt
m	sum	sXvm
n	sun	sXvn
N	tong	tXc:N
l	land	lXand
r	red	red
(外来語)		
C	gar@&con	gA:RCXc:n
J	gagner	gA:Jei
x	laigh	leix
半母音		
j	yet	jet
w	way	wei

(外来語)	Xh	lui	lXhi:
母音			
	i	bit	bit
	e	bet	bet
	Xa	bat	bXat
	A	hot	hAt
		pot	pAt
	Xc:	dog	dXc:g
	Xv	cup	kXvp
	u	put	put
	Xe	ago	Xeg'ou
		lemon	l'emXen
	i:	beat	bi:t
	A:	balm	bA:m
	Xc:	bought	bXc:t
	i(Xe)	beery	b'i(Xe)ri
	E(Xe)	bearing	bE(Xe)riN
	u(Xe)	assurance	XeS'u(Xe)rXeR
	eiXe	layering	l'eiXeriN
	au(Xe)	bowery	b'au(Xe)ri
	ai(Xe)	admirer	Xedm'ai(Xe)rXeR
	ju(Xe)	Europe	j'u(Xe)rXep
	u:	boot	bu:t
	ei	bate	beit
	ai	bite	bait
	au	bout	baut
	Xci	boil	bXcil
	ou	boat	bout
	iXeR	beer	biXeR
	EXeR	bear	bEXeR
	A:R	bar	bA:R
	Xe:R	bird	bXe:Rd
	XeR	bitter	b'itXeR
	Xc:R	bore	bXc:R
	uXeR	boor	buXeR
	e(i)XeR	player	pl'e(i)XeR
	auXeR	lower	l'auXeR
		tower	t'auXeR
	aiXeR	tire	taiXeR
	XciXeR	employer	empl'XciXeR
	ju:	cute	kju:t
	ju	popular	p'ApjulXeR
	juXeR	pure	pjuXeR
(外来語)			
	~E	enfin	~Af~E
	~A	pensionnaire	p~AsjXcnE:R
	~Xc	vicomte	vik~Xct

E	vicomtesse	vik~XctEs
E:R	pensionnaire	p~AsjXcnE:R
0	円唇、やや前舌、半広（唇を丸めて[E]を発音する）	
y	円唇、前舌、狭（唇を丸めて[i]を発音する）	
Xm	非円唇、奥舌、狭（唇を丸めずに[u]を発音する）	
0(数字)	円唇、やや前舌、半狭（唇を丸めて[e]を発音する）	

3.2 文法情報

文法情報は、品詞、構文木、語形・語形変化情報、文法属性、文型情報、機能・位置、機能語情報からなっている。これらの情報は、文の構文的な構造を見つけだすための構文解析や、ある意味を文章で表現するときはどういった構造の文を作るのかを決めるための構文生成で使用される。

3.2.1 品詞

品詞は、すべての英語単語辞書レコードに記述されている。英語単語辞書における品詞名一覧を表3-3に示す。複合語・慣用句には、以下の品詞名が記述される。

- (1) 普通名詞（「名詞句」は、構文木の中間ノードとして使われるが、複合語・慣用句の品詞としては、「普通名詞」を用いる。なお、固有名詞は単一語扱いである。）
- (2) 動詞（句動詞など、1つの動詞として機能するものの品詞名は動詞と記述される。）
- (3) 動詞句
- (4) 形容詞句
- (5) 副詞句
- (6) 前置詞句
- (7) 独立句
- (8) 文

3.2.2 構文木

構文木は、単一語でない単語見出しにのみ記述されている。構文木は、複合語・慣用句を構成する要素語が複合語・慣用句の内部でどのような構文構造をとるのかを示したものである。これは、複合語・慣用句を含む文の解析および生成において、複合語・慣用句を構成する各々の構成語の構文的役割や文法的振舞いを見つけ出すために用いられる。

構文木は、構文的なまとまりを示す構文ノードに品詞名を付与する形で再帰的に記述したものである。終端ノードは複合語・慣用句を構成する構成語の構成語見出しとなっている。

構文木は、以下の規則により導出される。

〈構文木〉	::=	〈構文要素〉	
		〈構文木〉/〈構文木〉	
		〈品詞〉(〈構文木〉)	
		{〈構文木〉}	
		[〈構文木〉]	
〈構文要素〉	::=	〈品詞〉(〈構成語見出し〉)	

ここで、

- (1) 同じ深さの構文木は、'/'で区切られる。
- (2) 構文要素が挿入される可能性を明示するため、構文要素を'{}'または'[]'で括る。'{}'は、挿入が必須であることを示し、'[]'は、挿入が必須でなく省略可能であることを示す。

3.2.3 語形・語形変化情報

英語の語形・語形変化情報には、見出しの語形を示す語形情報と、規則変化する語の語形変化パターンを示す語形変化情報の2種類がある。動詞、名詞、形容詞、副詞には、必ず語形を示すコードが1つ付与される(表3-4)。また、これらの品詞の語尾の見出しにも、語形情報が付与される。代名詞には、格を示すコードと人称・単複を示すコードが1つずつ記述される(表3-5)。語形変化情報には、動詞(表3-6)、名詞(表3-7)、形容詞(表3-8)、副詞(表3-9)の4種の語形変化表のコードが記述される。語形変化表において、「別見出し」となっている変化形は、独立した見出しとして辞書に登録される。

3.2.4 文法属性、文型情報、機能・位置、機能語情報

英語辞書に記述される文法情報には、語の文法的な属性、語がどのような文型を支配するかを示す情報、語の修飾機能や位置を示す情報、機能語に関する情報がある。動詞には、文型情報のほか、受け身形・進行形の可否に関する文法属性が記述される(表3-10)。名詞には、基本的には、可算・不可算、集合名詞、文法性(gender)、冠詞との共起、単複に関する制約、動詞との数の一致が文法属性として記述され、一部の名詞については、さらに、文型や修飾機能に関する情報が記述される(表3-11)。形容詞には、比較表現の有無に関する文法属性、機能・位置に関する情報、文型情報が記述される(表3-12)。限定詞には、名詞・冠詞との共起に関する機能・位置の情報が記述される(表3-13)。副詞には、比較表現の有無に関する文法属性、機能・位置に関する情報が記述される(表3-14)。動詞、名詞、形容詞の文型情報の記述において用いる特定前置詞指示コードの例を表3-15に示す。特定前置詞指示コードは、前置詞および前置詞相当語の機能語コード(表3-16)の先頭に'+E'を付けたものである。

語彙的意味をあまり持たず、文法的機能を担う語を一般に機能語という。英語単語辞書では、前置詞、前置詞相当語、be動詞、助動詞、助動詞相当語、等位接続詞、等位接続詞相当語、従属接続詞、従属接続詞相当語、接続副詞、関係代名詞、関係副詞、疑問代名詞、疑問副詞、その他一部の語を機能語とみなし、機能語情報(表3-16, 3-17, 3-18, 3-19, 3-20)を付与している。機能語情報は、表層語に対応する機能語コードである。省略形や異表記に対しては、元の語と同じ機能語コードが付与される。

3.3 意味情報

意味情報は、概念識別子・概念見出し・概念説明からなる。これは概念辞書の基本構成要素である概念に関する情報である。

人間はある単語を見たときに、その単語によって想起されるいくつかのイメージを思い浮かべることができる。このようなイメージの中で個別の状況に依存しない高い一般性を持つものを概念と呼ぶ。概念は、単語辞書において単語の多義性を識別するための情報であり、一般の辞書における語義に相当するが、言語に対して独立に設定される点が異なる。

3.3.1 概念識別子

概念識別子は数であり、概念の同一性を保持するためのものである。概念識別子は、すべての単語に記述されており、概念辞書へのリンク情報となっている。

3.3.2 概念見出しと概念説明

内容語には、概念識別子の他に概念見出しおよび概念説明が付されている。内容語は、自立した実質概念をもつ語で、英語では、名詞類、動詞類、形容詞類、副詞類、構文要素類がこれにあたる。

概念見出しには、その概念を代表するにふさわしい単語見出しが記述される。したがって、英語固有の概念など、その概念を代表するにふさわしい日本語単語見出しが存在しないものには、日本語概念見出しが省略されることがある。

概念説明は、概念の文章などによる説明で、ある概念と他の概念との識別を人間が行い易くするためのものである。

なお、概念に関するより詳細な記述は、「概念辞書」の章を参照されたい。

意味情報の例

単語 見出し	概念見出し		概念説明	
	日本語 概念見出し	英語 概念見出し	日本語 概念説明	英語 概念説明
dog	犬 [イヌ]	dog	犬という動物	an animal called dog
dog	スパイ [スパイ]	spy	スパイという 役割の人	a person who spys

3.4 運用・その他情報

運用・その他情報は、用法および頻度からなっている。これらは、文解析や文生成における尤度の評価などに使用できる。

3.4.1 用法

単語には、特定の場面、特定の用法において用いられる傾向の強いものがある。このような単語を含む文の処理を行うための手掛かりとして記述されているのが用法(表3-21)である。

3.4.2 頻度

個々の単語が英語コーパスにおいて出現する頻度を単語別、概念別に、実数で記述してある。

頻度の例

単語見出し	英語概念説明	概念別頻度/単語別頻度
short	the quality of being brief	116/431
short	insufficient	45/431

3. a 諸表

表3-1	英語左側連接属性 (LC)
表3-2	英語右側連接属性 (RC)
表3-3	英語品詞名
表3-4	英語の語形情報
表3-5	英語の代名詞の格と数の情報
表3-6	英語の動詞の語形変化
表3-7	英語の名詞の語形変化
表3-8	英語の形容詞の語形変化
表3-9	英語の副詞の語形変化
表3-10	英語の動詞の文法属性・文型情報
表3-11	英語の名詞の文法属性・文型情報・機能・位置
表3-12	英語の形容詞の文法属性・文型情報・機能・位置
表3-13	英語の限定詞の機能・位置
表3-14	英語の副詞の文法属性・機能・位置
表3-15	英語の特定前置詞指示コード
表3-16	英語の前置詞・副詞小辞および前置詞相当語
表3-17	英語のbe動詞・助動詞および助動詞相当語
表3-18	英語の等位接続詞・等位接続詞相当語・従属接続詞・従属接続詞相当語・接続副詞・ 接続副詞相当語
表3-19	英語の関係代名詞・疑問代名詞・関係副詞・疑問副詞
表3-20	英語のその他の機能語
表3-21	用法

表3-1 英語左側連接属性(LC)

カテゴリ	コード	例	説明
空白	ELB1		空白（スペース）
語頭子音名詞	ELN1	noun	子音で始まる普通名詞および固有名詞。
語頭母音名詞	ELN2	announcement	母音で始まる普通名詞および固有名詞。
代名詞	ELP1	I, this	再帰代名詞以外の人称代名詞、疑問代名詞、指示代名詞、不定代名詞、および関係代名詞。
再帰代名詞	ELP2	yourself	人称代名詞のうち語形が“-self”あるいは“-selves”のもの。単独で動詞の目的語・補語、前置詞の目的語などになり、主語と同じ物または人を指す。
語頭子音形容詞	ELA1	pretty	子音で始まる形容詞。
語頭母音形容詞	ELA3	honest	母音で始まる形容詞。
語頭子音副詞	ELD1	dependently	子音で始まる普通副詞。
語頭母音副詞	ELD3	actually	母音で始まる普通副詞。
語頭子音動詞	ELV1	go	子音で始まる動詞。
語頭母音動詞	ELV2	attend	母音で始まる動詞。
語頭子音 不定冠詞前置可限定詞	ELT1	few, little	不定限定詞のうち、“a”が前につきうるもの。
語頭母音 不定冠詞前置可限定詞	ELT2		不定限定詞のうち、“an”が前につきうるもの。
不定冠詞非前接語	ELW1	with, can, which	次の品詞に対応する。 (1) be動詞・助動詞・助動詞相当語(ただし省略形でESF4, ESF5, ESF6に該当するもの以外) (2) 普通副詞以外の副詞：関係副詞、疑問副詞、副詞小辞、接続副詞 (3) 前置詞・前置詞相当語 (4) 決定詞：指示限定詞、不定限定詞(上記ELT1, ELT2に該当するもの以外)、冠詞 (5) 間投詞 (6) 接続詞：等位接続詞、等位接続詞相当語、従属接続詞、従属接続詞相当語
名詞語尾s	ESN1	(boy)s	名詞に後接する複数形語尾“s”
名詞語尾es	ESN2	(box)es	名詞に後接する複数形語尾“es”
名詞語尾y/ies	ESN3	(lad)y, (lad)ies	名詞に後接する単数形語尾“y”、複数形語尾“ies”
名詞語尾fe/ves	ESN4	(wi)fe, (wi)ves	名詞に後接する単数形語尾“fe”、複数形語尾“ves”

表3-1 英語左側連接属性(LC) (続き)

カテゴリ	コード	例	説明
名詞語尾f/ves	ESN5	(lea) f, (lea) ves	名詞に後接する単数形語尾 "f"、複数形語尾 "ves"
名詞語尾s/es	ESN6	(potato) s, (potato) es	名詞に後接する単数形語尾 "s"、複数形語尾 "es"
名詞複数形語尾 アポストロフィs	ESN7	(PTA) 's	名詞に後接する複数形語尾 "'s"
名詞複数形語尾 s/アポストロフィs	ESN8	(NP) s, (NP) 's	名詞に後接する複数形語尾 "s"、"'s"
名詞単数形の所有格語尾 アポストロフィs	ESF1	(Taro) 's	単数形、単複同形で語末が"s"以外の名詞に後接して所有格をつくるアポストロフィs ("s")。be動詞の省略形の"s"は、ESF6。
名詞特殊単数形の所有格語尾 アポストロフィ	ESF2	(Jesus) '	語末が"s"の名詞単数形に後接して所有格をつくるアポストロフィ(" ")。
名詞複数形の所有格語尾 アポストロフィ	ESF3	(customers) '	名詞複数形に後接して所有格をつくるアポストロフィ(" ")。
名詞特殊複数形の所有格語尾 アポストロフィs	ESF8	(men) 's	語末が"s"以外の名詞複数形に後接して所有格をつくるアポストロフィs ("s")。
助動詞短縮形 (一人称単数主格後接)	ESF4	'm, 've, 'd	アポストロフィで始まる助動詞やbe動詞の短縮形のうち、"I"に後接するもの。
助動詞短縮形 (二人称/複数主格後接)	ESF5	're, 've, 'd	アポストロフィで始まる助動詞やbe動詞の短縮形のうち、"you"、"we"、"they"に後接するもの。
助動詞短縮形 (三人称単数主格後接)	ESF6	's, 'd	アポストロフィで始まる助動詞やbe動詞の短縮形のうち"he"、"she"、"it"に後接するもの。
助動詞後接アポストロフィ	ESF7	n' t	don' t、"couldn' t"の"n' t"。
動詞語尾s/d/ing	ESV1	(agree) s, (agree) d, (agree) ing	s-d変化型動詞に後接する動詞語尾。
動詞語尾s/ed/ing	ESV2	(turn) s, (turn) ed, (turn) ing	s-ed変化型動詞に後接する動詞語尾。
動詞語尾es/ed/ing	ESV3	(watch) es, (watch) ed, (watch) ing	es-ed変化型動詞に後接する動詞語尾。
動詞語尾e/es/ed/ing	ESV4	(hik) e, (hik) es (hik) ed, (hik) ing	e変化型動詞に後接する動詞語尾。

表3-1 英語左側連接属性(LC) (続き)

カテゴリ	コード	例	説明
動詞語尾y/ies/ied/ying	ESV5	(stud)y, (stud)ies, (stud)ied, (stud)ying	y変化型動詞に後接する動詞語尾。
動詞語尾ie/ies/ied/ying	ESV6	(d)ie, (d)ies, (d)ied, (d)ying	ie変化型動詞に後接する動詞語尾。
動詞語尾s/ing	ESV7	(see)s, (see)ing	s-ing変化型動詞に後接する動詞語尾。
動詞語尾es/ing	ESV8	(go)es, (go)ing	es-ing変化型動詞に後接する動詞語尾。
動詞語尾e/es/ing	ESV9	(writ)e, (writ)es, (writ)ing	e-ing変化型動詞に後接する動詞語尾。
動詞語尾y/ies/ying	ESVA	(fl)y, (fl)ies, (fl)ying	y-ying変化型動詞に後接する動詞語尾。
動詞語尾s	ESVB	(put)s	s- 不規則変化型動詞に後接する動詞語尾。
形容詞語尾er/est	ESA1	(great)er, (great)est	形容詞比較級語尾"er"、最上級語尾"est"。
形容詞語尾r/st	ESA2	(wide)r, (wide)st	eで終わる形容詞に後接する形容詞。比較級語尾"r"、最上級語尾"st"。
形容詞語尾y/ier/iest	ESA3	(eas)y, (eas)ier, (eas)iest	形容詞原級語尾"y"、比較級語尾"ier"、最上級語尾"iest"。
動詞語尾s/bed/bing	ESPB	(mob)bed	s- tt変化型動詞に後接する動詞語尾。 動詞不変化部分の最後の子音字を重ねてed/ingを付けた動詞過去形、過去分詞形、現在分詞形語尾。語末の短母音にアクセントがあり、子音字で終わる動詞不変化部分に後接する。
動詞語尾s/ded/ding	ESPD	(pad)ded	
動詞語尾s/fed/fing	ESPF		
動詞語尾s/ged/ging	ESPG	(peg)ged	
動詞語尾s/ked/king	ESPK	(picnic)ked	
動詞語尾s/led/ling	ESPL	(control)led	
動詞語尾s/med/ming	ESPM	(hum)med	
動詞語尾s/ned/ning	ESPN	(pin)ned	
動詞語尾s/ped/ping	ESPP	(tap)ped	
動詞語尾s/red/ring	ESPR	(stir)red	
動詞語尾s/ted/ting	ESPT	(admit)ted	
動詞語尾s/ved/ving	ESPV	(rev)ved	

表3-1 英語左側連接属性(LC) (続き)

カテゴリ	コード	例	説明
形容詞語尾ber/best	ESAB	(drab)ber	形容詞不変化部分の最後の子音字 を重ねてer/est を付けた形容詞比較級、最上級語尾。
形容詞語尾der/dest	ESAD	(sad)der	
形容詞語尾fer/fest	ESAF		
形容詞語尾ger/gest	ESAG	(big)ger	
形容詞語尾ker/kest	ESAK		
形容詞語尾ler/lest	ESAL	(cruel)ler	
形容詞語尾mer/mest	ESAM	(slim)mer	
形容詞語尾ner/nest	ESAN	(thin)ner	
形容詞語尾per/pest	ESAP	(lip)per	
形容詞語尾rer/rest	ESAR		
形容詞語尾ser/sest	ESAS		
形容詞語尾ter/test	ESAT	(hot)ter	
形容詞語尾ver/vest	ESAV		
形容詞語尾zer/zest	ESAZ		
副詞語尾er/est	ESD1	(hard)er, (hard)est	
副詞語尾r/st	ESD2	(late)r, (late)st	eで終わる副詞に後接する比較級語尾"r"、最上級語尾 "st"。
副詞語尾y/ier/iest	ESD3	(earl)y, (earl)ier, (earl)iest	副詞原級語尾 "y"、比較級語尾"ier"、最上級語尾 "iest"。
副詞語尾ber/best	ESDB		副詞不変化部分の最後の子音字 を重ねてer/estを付けた副詞比較級、最上級語尾。
副詞語尾der/dest	ESDD		
副詞語尾fer/fest	ESDF		
副詞語尾ger/gest	ESDG		
副詞語尾ker/kest	ESDK		
副詞語尾ler/lest	ESDL		
副詞語尾mer/mest	ESDM		
副詞語尾ner/nest	ESDN		
副詞語尾per/pest	ESDP		
副詞語尾rer/rest	ESDR		
副詞語尾ser/sest	ESDS		

表3-1 英語左側接続属性(LC) (続き)

カテゴリ	コード	例	説明
副詞語尾ter/test	ESDT		
副詞語尾ver/vest	ESDV		
副詞語尾zer/zest	ESDZ		
英小文字	ELS1	a, b, c	小文字のアルファベット
英大文字	ELS2	A, B, C	大文字のアルファベット
省略マーク	ELS3	.	"Mr.", "etc." のような省略語の語末に付けられる."
連結記号	ELS4	- (ハイフン), _ (アンダーバー)	連結に用いられる記号
小数点	ELS5	.	"3.2" の "." のように小数点を表す."
S I 接頭語	ELS6	k (キロ)	数字 (ELS8) の後、数量単位 (ELS7) の前に来る。
数量単位	ELS7	m (メートル), g (グラム)	数字 (ELS8) の後または S I 接頭語 (ELS6) の後に来て計測基準量を示す。
数字	ELS8	1, 2, 3	
区切り記号	ELS9	, (コンマ), : (コロソ), ; (セミコロソ)	区切りを表す記号
終止符	ELSA	. (ピリオド), ?, !	文の終わりを示す符号
記号	ELSB	&, ¥	
ローマ数字	ELSC	I, II, III	

表3-2 英語右側接続属性 (RC)

カテゴリ	コード	例	説明
空白	ERB1		空白 (スペース)
不定冠詞a	ERR1	a	
不定冠詞an	ERR2	an	
定冠詞the	ERR3	the	
接頭辞	ERPF	semi-, un-	語の意味・機能を変更するために語頭に添加する形態素。
名詞不変化部分 (後接s)	ECN1	book(s)	複数形語尾"s"が後接する名詞不変化部分。
名詞不変化部分 (後接es)	ECN2	dish(es)	複数形語尾"es"が後接する名詞不変化部分。
名詞不変化部分 (後接y/ies)	ECN3	lad(y), lad(ies)	単数形語尾"y", 複数形語尾"ies"が後接する名詞不変化部分。
名詞不変化部分 (後接fe/ves)	ECN4	kni(fe)	単数形語尾"fe", 複数形語尾"ves" が後接する名詞不変化部分。
名詞不変化部分 (後接f/ves)	ECN5	lea(f)	単数形語尾"f", 複数形語尾"ves" が後接する名詞不変化部分。
名詞不変化部分 (後接s/es)	ECN6	potato(s), potato(es)	複数形語尾"s", "es" が後接しうる名詞不変化部分。
名詞不変化部分 (後接's)	ECN7	PTA('s)	複数形語尾"'s"が後接する名詞不変化部分。
名詞不変化部分 (後接s/'s)	ECN8	NP(s), NP('s)	複数形語尾"s", "'s"が後接する名詞不変化部分。
名詞単数形	ERN1	man, tooth, datum	次のものが含まれる。 (1) 複数形が不規則変化の名詞の単数形: man, tooth, datum (2) 複数形を持たない名詞(抽象名詞、物質名詞、省略語): monopolism, water (3) 単数形の語尾: (lad)y, (kni)fe, (lea)f ただし、語末が"s"以外の場合に限る。語末が"s"の場合の右接続属性は「名詞単数形語末s(ERN5)」である。 名詞単数形(ERN1)には所有格語尾"'s"が、名詞単数形語末s(ERN5)には所有格語尾"'s"(および's')が後接しうる。
名詞複数形	ERN2	analyses, irides, matrices	次のものが含まれる。 (1) 不規則変化の複数形で、語末が"s"のもの(不規則形語末ses/xesの場合): analyses, theses (2) 複数形の語尾s/es/ies: (book)s, (box)es, (lad)ies単数形の場合と同様に、語末が"s"の場合と語末が"s"以外の場合では右接続属性が異なる。 語末が"s"以外の場合の右接続属性は「名詞複数形語末"s"以外(ERN6)」である。 名詞複数形(ERN2)には所有格語尾"'s"が、名詞複数形語末s以外(ERN6)には所有各語尾"'s"が後接しうる。

表3-2 英語右側接続属性(RC) (続き)

カテゴリ	コード	例	説明
名詞単複同形	ERN3	sheep, deer	単複同形の名詞うち、語末が"s"以外のもの。語末が"s"の場合の右接続属性は、「名詞単複同形語末s(ERN7)」である。名詞単複同形(ERN3)には所有格語尾"'s"が、名詞単複同形語末s(ERN7)には所有格語尾"' '(および's)'が後接しうる。
名詞所有格	ERN4	(Taro)'s, (Jesus)', (customers)'	所有格の語尾アポストロフィs("'s")、アポストロフィ("' '")。
名詞単数形語末s	ERN5	analysis, Jesus, Jones	次のものが含まれる。 (1)不規則変化の名詞の単数形で語末が"s"のもの (-sas/-ses/-sis/-sos/-sus) (2)複数形を持たない名詞で語末が"s"のもの。語末が"s"以外の場合の右接続属性は、「名詞単数形(ERN1)」である。名詞単数形(ERN1)には所有格語尾"'s"が、名詞単数形語末s(ERN5)には所有格語尾"' '(および"'s')が後接しうる。 (例) Jesus', Mr. Jones', Mr. Jones's
名詞複数形語末s以外	ERN6	men, corpora, mice, geese	不規則変化名詞の複数形で語末が"s"以外のもの。語末が"s"の場合、右接続属性は「名詞複数形(ERN2)」である。名詞複数形(ERN2)には所有格語尾"' ' "が、名詞複数形語末s以外(ERN6)には所有格語尾"'s"が後接しうる。
名詞単複同形語末s	ERN7	corps, walrus, chassis, bourgeois	単複同形の名詞うち、語末が"s"のもの。語末が"s"以外の場合の右接続属性は、「名詞単複同形(ERN3)」である。名詞単複同形(ERN3)には所有格語尾"'s"が、名詞単複同形語末s(ERN7)には所有格語尾"' '(および"'s')が後接しうる。
人称代名詞主格 一人称単数形	ERP1	I	主語の位置にあらわれる人称代名詞で、一人称単数を指すもの。
人称代名詞主格 二人称、複数形	ERP2	you, we, they	主語の位置にあらわれる人称代名詞で、二人称単数/複数、一人称/三人称複数指すもの。
人称代名詞主格 三人称単数形	ERP3	he, she	主語の位置に現われる人称代名詞で、三人称単数を指すもの。
人称代名詞所有格	ERP4	my, your, our, his, her, their	後接する名詞を修飾する人称代名詞。
人称代名詞目的格	ERP5	me, you	目的語の位置にあらわれる人称代名詞。
人称代名詞独立所有格	ERP7	mine	単独で主語や目的語として用いられ、「~のもの」の意を示す代名詞。
再帰代名詞	ERP8	myself	単独で動詞の目的語・補語、前置の目的語などになり、主語と同じ人や物を指す。

表3-2 英語右側連接属性(RC) (続き)

カテゴリ	コード	例	説明
指示代名詞単数形	ERP9	this, that	単独で主語や目的語となり、事物や文中の語句・内容などを指し示す語を指示代名詞という。This is my hat. の"this"。
指示代名詞複数形	ERPA	these, those	名詞の前について事物や文中の語句・内容などを指し示す語を指示限定詞という。"this hat"の"this"。
指示限定詞単数形	ERP B	this, that	
指示限定詞複数形	ERPC	these, those, them	
不定代名詞 (単数)	ERPD	everybody, another, each, everything, one	単独で主語や目的語となり、不特定の物や人を表わす語のうち、動詞との数の一致において単数扱いのもの。 不定代名詞には、"some", "all"などの数量代名詞と呼ばれる語も含まれる。また、"some", anyなどが"-thing", "-body", "-one"と結びついたsomethingのような複合形のものも含まれる。
不定代名詞 (複数)	ERPE	both, others, some, either	単独で主語や目的語となり、不特定の物や人を表わす語のうち、動詞との数の一致において複数扱いのもの。
関係代名詞主格	ERL1	who, which, that	接続詞と代名詞の機能を併有する語を関係代名詞という。wh-代名詞のほか、"that"も含む。関係代名詞主格は、関係節において主語の役割を果たす。
関係代名詞所有格	ERL2	whose	関係節において所有格代名詞の役割を果たす。the house whose roof was damagedの"whose"。
関係代名詞目的格	ERL3	whom, which, that	関係節において目的語の役割を果たす。
関係代名詞what	ERL4	what	"the thing which", "anything that"などの意味を表わす関係代名詞。それ自体の中に先行詞を含んでいる。例えば、"This is what was damaged." の"what" は "This is the house which was damaged." の "the house which" にあたる。
関係副詞	ERL5	where, when	関係詞節を先行詞に結び付ける点では関係代名詞と同じであるが、関係節のなかで副詞の働きをしている点が関係代名詞と異なる。
疑問代名詞主格	ERQ1	who, which, what	疑問を表わす代名詞を疑問代名詞という。疑問代名詞主格は主語を問うときに用いられる。
疑問代名詞所有格	ERQ2	whose, which	Whose is this book? の"whose"。

表3-2 英語右側接続属性(RC) (続き)

カテゴリ	コード	例	説明
疑問代名詞目的格	ERQ3	whom, which	疑問代名詞目的格は目的語を問うときに用いられる。
疑問限定詞	ERQ4	what, which, whose	形容詞的に用いるwhat, which, whoseを疑問限定詞という。 例：“What color is your hat?” “Which information do you want?” “Whose ideas are these?”
疑問副詞	ERQ6	where, when	疑問を表わす副詞。
基数詞	ERM1	one	個数を表わす数詞。
序数詞	ERM2	first	順序を表わす数詞。
be	ERE1		
am	ERE2		
are	ERE3		
is	ERE4		
was	ERE5		
were	ERE6		
been	ERE7		
being	ERE8		
助動詞do	ER01		
助動詞does	ER02		
助動詞did	ER03		
助動詞have	ERH1		
助動詞has	ERH2		
助動詞had	ERH3		
助動詞having	ERH4		
不定詞	ERT0	to	不定詞を導く“to”
助動詞	ERX1	must, have to	助動詞および助動詞相当語。ここでいう助動詞とは、法助動詞(modal auxiliary; “can”, “may”, “must”, “will”, “shall”など)を指す。
等位接続詞	ERC1	and	対等の関係にある語と語、句と句、節と節を結び付ける等位接続詞(相当語)。
従属接続詞	ERC2	if	従属的な地位にある節を主節に結びつける従属接続詞(相当語)、接続副詞。

表3-2 英語右側連接属性(RC) (続き)

カテゴリ	コード	例	説明
s-d変化型動詞不変化部分	ECV1	agree(s)	三人称単数現在形語尾"s", 過去・過去分詞形語尾"d", 現在分詞形語尾"ing"が後接する動詞不変化部分。
s-ed変化型動詞不変化部分	ECV2	turn(s)	三人称単数現在形語尾"s", 過去・過去分詞形語尾"ed", 現在分詞形語尾"ing"が後接する動詞不変化部分。
es-ed変化型動詞不変化部分	ECV3	watch(es)	三人称単数現在形語尾"es", 過去・過去分詞形語尾"ed", 現在分詞形語尾"ing"が後接する動詞不変化部分。
e変化型動詞不変化部分	ECV4	lik(e)	原形語尾"e", 三単現語尾"es", 過去(分詞)形語尾"ed", 現在分詞形語尾"ing"が後接する動詞不変化部分。
y変化型動詞不変化部分	ECV5	stud(y)	原形語尾"y", 三単現語尾"ies", 過去(分詞)形語尾"ied", 現在分詞形語尾"ying"が後接する動詞不変化部分。
ie変化型動詞不変化部分	ECV6	d(ie)	原形語尾"ie", 三単現語尾"ies", 過去(分詞)形語尾"ied", 現在分詞形語尾"ying"が後接する動詞不変化部分。
s-ing変化型動詞不変化部分	ECV7	see(s)	三単現語尾"s", 現在分詞形語尾"ing"が後接し、過去・過去分詞形が不規則変化する動詞不変化部分。
es-ing変化型動詞不変化部分	ECV8	go(es)	三単現語尾"es", 現在分詞形語尾"ing"が後接し、過去・過去分詞形が不規則変化する動詞不変化部分。
e-ing変化型動詞不変化部分	ECV9	writ(e)	原形語尾"e", 三単現語尾"es", 現在分詞形語尾"ing"が後接し、過去・過去分詞形が不規則変化する動詞不変化部分。
y-ying変化型動詞不変化部分	ECVA	fl(y)	原形語尾"y", 三単現語尾"ies", 現在分詞形語尾"ying"が後接し、過去・過去分詞形が不規則変化する動詞不変化部分。
s-不規則変化型動詞不変化部分	ECVB	put(s)	三単現語尾"s"が後接し、現在分詞形、過去・過去分詞形が不規則変化する動詞不変化部分。
s-tt変化型動詞不変化部分	EPVB EPVD EPVF EPVG EPVK	mob(s) pad(s) peg(s) trek(s), picnic(s)	三単現語尾"s"が後接し、語末の子音字を重ねてed/ingを付けることによって過去(分詞)形、現在分詞形が作られる動詞不変化部分。 語末の短母音にアクセントがあり、子音字b, c, d, f, g, k, l, m, n, p, r, t, vで終わる語が該当する。

表3-2 英語右側連接属性(RC) (続き)

カテゴリ	コード	例	説明
	EPVL	control(s)	
	EPVM	hum(s)	
	EPVN	pin(s)	
	EPVP	tap(s)	
	EPVR	stir(s)	
	EPVT	admit(s)	
	EPVV	shiv(s)	
語尾を後接しない動詞原形	ERV1	have, (stud)y	次のものが含まれる。 (1) 不規則変化動詞の原形、 (2) 動詞原形語尾
動詞三単現形	ERV2	has, (get)s	次のものが含まれる。 (1) 不規則変化動詞の三単現形、 (2) 動詞三単現語尾
動詞過去形	ERV3	went, (lik)ed	次のものが含まれる。 (1) 不規則変化動詞の過去形、 (2) 動詞過去形語尾
動詞過去分詞形	ERV4	gone, (lik)ed	次のものが含まれる。 (1) 不規則変化動詞の過去分詞形、 (2) 動詞過去分詞形語尾
動詞現在分詞形	ERV5	putting, (go)ing	次のものが含まれる。 (1) 不規則変化動詞の現在分詞形、 (2) 動詞現在分詞形語尾
er変化型形容詞	ECA1	small(er)	比較級語尾"er", 最上級語尾"est"が後接する形容詞不変化部分。
r変化型形容詞	ECA2	wide(r)	比較級語尾"r", 最上級語尾"st"が後接する形容詞不変化部分。"e"で終わる形容詞の一部(比較変化語尾がつくもの)が該当する。
ier変化型形容詞	ECA3	happ(y)	原級語尾"y", 比較級語尾"ier", 最上級語尾"iest"が後接する形容詞不変化部分。
tt変化型形容詞	ECAB	drab(ber)	語末の子音字を重ねて"er/est"をつけることによって比較級、最上級が作られる形容詞不変化部分。短母音の一音節からなる形容詞の一部(比較変化語尾がつくもの)が該当する。
	ECAD	sad(der)	
	ECAF		
	ECAG	big(ger)	
	ECAK		
	ECAL	cruel(ler)	
	ECAM	slim(mer)	

表3-2 英語右側連接属性(RC) (続き)

カテゴリ	コード	例	説明
	ECAN	thin(ner)	
	ECAP	lip(per)	
	ECAR		
	ECAS		
	ECAT	hot(ter)	
	ECAV		
	ECAZ		
語尾を後接しない形容詞原級	ERA1	good, (happ)y, beautiful	次のものが含まれる。 (1)比較級、最上級が不規則変化する形容詞の原級、 (2)形容詞原級語尾、 (3)語尾による級変化がない形容詞原級
形容詞比較級	ERA2	better, (happ)ier	次のものが含まれる。 (1)比較級、最上級が不規則変化する形容詞の比較級、 (2)形容詞比較級語尾
形容詞最上級	ERA3	best, (happ)iest	次のものが含まれる。 (1)比較級、最上級が不規則変化する形容詞の最上級、 (2)形容詞最上級語尾
er変化型副詞	ECD1	hard(er)	比較級語尾"er", 最上級語尾"est"が後接する副詞不変部分。
r変化型副詞	ECD2	late(r)	比較級語尾"r", 最上級語尾"st"が後接する副詞不変部分。
ier変化型副詞	ECD3	earl(y)	原級語尾"y", 比較級語尾"ier", 最上級語尾"iest"が後接する副詞不変部分。
tt変化型副詞	ECDB		語末の子音字を重ねて"er/est"をつけることによって比較級、最上級がつけられる副詞不変部分。短母音の一音節からなる副詞の一部(比較変化語尾がつくもの)が該当する。
	ECDD		
	ECDF		
	ECDG	big(ger)	
	ECDK		
	ECDL		
	ECDM		
	ECDN	thin(ner)	
	ECDP	flop(per)	

表3-2 英語右側連接属性(RC) (続き)

カテゴリ	コード	例	説明
	ECDR ECDS ECDT ECDV ECDZ	hot (ter)	
語尾を後接しない副詞原級	ERD1	well, (earl)y, carefully	次のものが含まれる。 (1)比較級、最上級が不規則変化する副詞の原級、 (2)副詞原級語尾、(3)語尾による級変化がない副詞原級
副詞比較級	ERD2	better, (hard)er	次のものが含まれる。 (1)比較級、最上級が不規則変化する副詞の比較級、 (2)副詞比較級語尾
副詞最上級	ERD3	best, (hard)es t	次のものが含まれる。 (1)比較級、最上級が不規則変化する副詞の最上級、 (2)副詞最上級語尾
副詞小辞	ERD5	off, up	
間投詞	ERIT	oh, gosh	驚き、喜び、怒り、悲しみなどの感情を表わす語。

表3-2 英語右側接続属性(RC) (続き)

カテゴリ	コード	例	説明
前置詞	ERPP	about, in front of	前置詞および前置詞相当語
英小文字	ERS1	a, b, c	小文字のアルファベット
英大文字	ERS2	A, B, C	大文字のアルファベット
省略マーク	ERS3	.	"Mr.", "etc."のような省略語の語末に付けられる".", "。"
連結記号	ERS4	- (ハイフン), _ (アンダーバー)	連結に用いられる記号
小数点	ERS5	.	"3.2" の "." のように小数点を表す"."
S I 接頭語	ERS6	k (キロ)	数字(ELS8)の後、数量単位(ELS7)の前に来る。
数量単位	ERS7	m (メートル), g (グラム)	数字(ELS8)の後またはS I 接頭語(ELS6)の後に来て計測基準量を示す。
数字	ERS8	1, 2, 3	
区切り記号	ERS9	, (コンマ), : (コロン), ; (セミコロン)	
終止符	ERSA	. (ピリオド)	
記号	ERSB	&	
ローマ数字	ERSC	I, II, III	

表3-3 英語品詞名

類	品詞名	コード	例
名詞	普通名詞	EN1	book
	固有名詞	EN2	Tokyo
	基数詞	EN3	one, two
	序数詞	EN4	first
	助数詞	EN5	piece, amount, bit
代名詞	人称代名詞	EP1	I, my, me, mine
	疑問代名詞	EP2	who, what
	指示代名詞	EP3	this, that
	不定代名詞	EP4	some, anyone
	関係代名詞	EP5	who, whose, that
動詞	動詞	EVE	run
	be動詞	EBE	am, are, is
形容詞	形容詞	EAJ	beautiful
副詞	関係副詞	ED1	whenever
	疑問副詞	ED2	how
	副詞小辞	ED3	off, up, back, round
	接続副詞	ED4	because, since
	普通副詞	ED5	very, actually
前置詞	前置詞	EPR	in, on, at
	前置詞相当語	EPR2	in front of, according to, regarding
決定詞	指示限定詞	ET1	this, that
	不定限定詞	ET2	any, both, either, such
	冠詞	EAR	a, an, the
助動詞	助動詞	EAV	will, must
	助動詞相当語	EAV2	have to, would rather
間投詞	間投詞	EIT	ah, oh
接続詞	等位接続詞	EC1	and, but
	等位接続詞相当語	EC12	
	従属接続詞	EC2	whether
	従属接続詞相当語	EC22	even if, so that
不定詞	不定詞	EFT	to, not to
接辞	接頭辞	EPF	semi-
語尾	名詞語尾	EEN	(book)s
	動詞語尾	EEV	(turn)s, (turn)ed, (turn)ing
	形容詞語尾	EEA	(small)er, (small)est
	副詞語尾	EED	(hard)er, (hard)est
構文要素 (句・文)	名詞句	ENP	
	動詞句	EVP	kick the bucket
	形容詞句	EAP	green with envy
	副詞句	EDP	all in good time
	前置詞句	EPP	under the counter
	独立句	EIP	no names, no pack drills
	文	ESE	Time flies like an arrow.
その他	単位	EUN	cm, kg
	記号	ESY	A, B, C, a, b, c, ?, &

表3-4 英語の語形情報

カテゴリ	コード	語形	説明
動詞	EVSTM	不変化部分	記述対象：動詞、be動詞、助動詞、 および動詞語尾
	EVB	原形	
	EVS	三人称単数現在形	
	EVED	過去形	
	EVEN	過去分詞形	
	EVING	現在分詞・動名詞形	
名詞	ENSTM	不変化部分	記述対象：普通名詞、固有名詞、 助数詞、および名詞語尾
	ENSG	単数形	
	ENPL	複数形	
	ENHM	単複同形	
	ENPOS	所有格	
形容詞	EASTM	不変化部分	記述対象：形容詞および形容詞語尾
	EAPOS	原級	
	EACMP	比較級	
	EASUP	最上級	
副詞	EDSTM	不変化部分	記述対象：副詞および副詞語尾
	EDPOS	原級	
	EDCMP	比較級	
	EDSUP	最上級	

表3-5 英語の代名詞の格と数の情報

コード	説明	例
EPC1	主格	I
EPC2	所有格	my
EPC3	目的格	me
EPC4	独立所有格	mine
EPC5	再帰代名詞	myself
EPP1SG	一人称単数	I
EPP1PL	一人称複数	we
EPP2SG	二人称単数	you
EPP2PL	二人称複数	you
EPP3SG	三人称単数	it
EPP3PL	三人称複数	the

表3-6 英語の動詞の語形変化

変化型	コード	例 (不変化部)	語形	原形 語尾	三単現 語尾	過去 語尾	過去分詞 語尾	現在分詞 語尾
規則変化群								
s-d	ECV1	agree	EVB	-	s	d	d	ing
s-ed	ECV2	turn	EVB	-	s	ed	ed	ing
es-ed	ECV3	watch	EVB	-	es	ed	ed	ing
e	ECV4	hik	EVSTM	e	es	ed	ed	ing
y	ECV5	stud	EVSTM	y	ies	ied	ied	ying
ie	ECV6	d	EVSTM	ie	ies	ied	ied	ying
s-tt	EPVB ~EPVZ	bat	EVB	-	s	子音+ed	子音+ed	子音+ing
一部不規則変化群								
s-ing	ECV7	see	EVB	-	s	(*)	(*)	ing
es-ing	ECV8	go	EVB	-	es	(*)	(*)	ing
e-ing	ECV9	writ	EVSTM	e	es	(*)	(*)	ing
y-ying	ECVA	fl	EVSTM	y	ies	(*)	(*)	ying
s-不規則	ECVB	hit	EVB	-	s	(*)	(*)	(*)
不規則変化	EVIRG	have	EVB	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)

注1：(*)は、不規則変化を示す。不規則変化形は、独立した見出しとして登録される。

見出しが“不規則変化形”のとき、語形変化情報はEVIRGと記述される。例えば、“see”の語形変化情報はECV7と記述され、“saw”の語形変化情報はEVIRGと記述される。

注2：子音+ed、子音+ing は、語末の子音字を重ねて語尾“-ed”、“-ing”がつくことを示す。

コードの最後の文字は、語末の子音字に対応する。例えば、“jog”、“bat”の語形変化情報はそれぞれ、ECVG、ECVTであり、“jogged/jogging”、“batted/batting”のように語形変化することを示す。”

注3：語形変化情報は、すべての動詞およびBe動詞に対して記述される。

表3-7 英語の名詞の語形変化

変化型	コード	例(不変化部)	語形	単数形語尾	複数形語尾
s	ECN1	boy	ENSG	-	s
es	ECN2	box	ENSG	-	es
y	ECN3	lad	ENSTM	y	ies
fe	ECN4	wi	ENSTM	fe	ves
f	ECN5	lea	ENSTM	f	ves
s & es	ECN6	potato	ENSG	-	"s, es"
's	ECN7		ENSG	-	's
s & 's	ECN8	NP	ENSG	-	"s, 's"
不規則変化	ENIRG		ENSG		(別見出し)

注1：(*)は、不規則変化を示す。不規則変化形は、独立した見出しとして登録される。

見出しが不規則変化形するとき、語形変化情報はENIRGと記述される。例えば、“tooth”の複数形“teeth”の語形変化情報はENIRGと記述される。

注2：語形変化しない名詞、即ち、不可算名詞および単複同形の可算名詞の語形変化情報は、空である。

表3-8 英語の形容詞の語形変化

変化型	コード	例(不変化部)	語形	原形語尾	比較級語尾	最上級語尾
er	ECA1	hard	EAPOS	-	er	est
r	ECA2	pale	EAPOS	-	r	st
ier	ECA3	eas	EASTM	y	ier	iest
tt	ECAB ~ECAZ	big	EAPOS	-	子音字+er	子音字+est
不規則変化	EAIRG	good	EAPOS	-	(*)	(*)

注1：(*)は、不規則変化を示す。不規則変化形は、独立した見出しとして登録される。

見出しが不規則変化形するとき、語形変化情報はEAIRGと記述される。例えば、“good”の比較級“better”、最上級“best”の語形変化情報はEAIRGと記述される。

注2：子音+ed、子音+ing は、語末の子音字を重ねて語尾“-er”、“-est”がつくことを示す。

コードの最後の文字は、語末の子音字に対応する。例えば、“big”の語形変化情報は ECAGであり、“bigger/biggest”と語形変化することを示す。

注3：語形変化しない形容詞の語形変化情報は、空である。

表3-9 英語の副詞の語形変化

変化型	コード	例 (不変化部)	語形	原形語尾	比較級語尾	最上級語尾
er	ECD1	deep	EDPOS	-	er	est
r	ECD2	late	EDPOS	-	r	st
ier	ECD3	earl	EDSTM	y	ier	iest
tt	ECDB ~ECDZ	hot	EDPOS	-	子音字+er	子音字+est
不規則変化	EDIRG	well	EDPOS	-	(*)	(*)

注1：(*)は、不規則変化を示す。不規則変化形は、独立した見出しとして登録される。
見出しが不規則変化形るとき、語形変化情報はEDIRGと記述される。例えば、“well”の比較級
“better”、最上級“best”の語形変化情報はEAIRGと記述される。

注2：子音+ed、子音+ing は、語末の子音字を重ねて語尾“-er”、“-est”がつくことを示す。
コードの最後の文字は、語末の子音字に対応する。例えば、“hot”の語形変化情報はECDBであ
り、hotter/hottestと語形変化することを示す。

注3：語形変化しない副詞の語形変化情報は、空である。

表3-10 英語の動詞の文法属性・文型情報

文型情報

コード	説明
EVITO	直接目的語 (DO) も間接目的語 (IO) も取らない (SV/SVC/SV+ADV) (注: 主格補語をとる場合は、必ず[EVSCO]を併記する)
EVI00	間接目的語 (IO) を必ずとる (SV00) (注: 間接目的語とは、直接目的語 (DO) 以外の目的語である。 [EVI00]は、必ず[EVD00]と併記する。)
EVI01	間接目的語 (IO) + 直接目的語 (DO) のかわりに、 直接目的語 (DO) + to + 名詞句、をとってよい
EVI02	間接目的語 (IO) と直接目的語 (DO) のかわりに、 直接目的語 (DO) + for + 名詞句、をとってよい (注: 同一見出し語に[EVI01] [EVI02]の併記はしない)
EVD00	直接目的語 (DO) を必ずとる (SV0/SV00/SVOC/SV0+ADV)
EVD01	DO=名詞句 (固有名詞、代名詞も含む)
EVD02	DO=that-節
EVD03	DO=従属疑問wh/if-節
EVD04	DO=wh-to不定詞句
EVD05	DO=原形不定詞句
EVD06	DO=to-不定詞句
EVD07	DO=ing句
EVD08*	DO=for-to不定詞句
EVD09*	名詞句 + -ing句 (注: [EVD00]は、[EVD01-9]のうちの一つを必ず併記する。) * EVD08, EVD09は、次版にて追加する。
EVSCO	主格補語 (SC) を必ずとる (SVC)
EVOCO	目的格補語 (OC) を必ずとる (SVOC)
EVC10	C=名詞句 (固有名詞、代名詞も含む)
EVC20	C=形容詞句
EVC30	C=to be + 名詞句
EVC40	C=to be + 形容詞句
EVC50	C=原形不定詞句
EVC60	C=to-不定詞句
EVC70	C=過去分詞
EVC80	C=ing句
EVC91*	C=like + 名詞句
EVC92*	C=as + 名詞句
EVC93*	C=for + 名詞句 (注: [EVSCO]または[EVOCO]は、[EVC10-93]のうちの一つを必ず併記する。) * EVC91-93は、次版にて追加する。

表3-10 英語の動詞の文法属性・文型情報 (続き)

文型情報 (続き)

コード	説明
EVSA0	特定副詞句を必ずとる (SV+ADV/SVO+ADV)
EVSA2 EVSA4* EVSA5 EVSA6	ADP=前置詞 + 名詞句 (特定前置詞指示コード (表3-15) を併記する。 前置詞は、同時に取りうるもののみが併記される。同時に取らないものは別レコードに記述される。 ADP=場所、時、方向、様態を示す副詞あるいは前置詞句 ADP=to-不定詞 ADP=ing 句 (注: [EVSA0]は、[EVSA 2-6]のうちの一つを必ず併記する。) * EVSA4は、次版にて追加する。
EVSI1	不定it構文 (指示対象を持たない it が主語) (例) It rains.
EVSI2	it=that-節 (例) It seems that the wind has blown the trees over. It is said that humans have lived on earth for millions of years.
EVSI3	it=as if構文 (例) It appears as if the movie will start late.
EVSI4	it=whether構文 (例) It doesn't matter whether you take the medicine in the morning or in the evening.
EVSI5*	it=to不定詞句 (例) It appears to be the only one left.
EVSI6*	it=wh-to不定詞句 (例) It wasn't apparent how to solve the problem.
EVSI7*	it=for-to不定詞句 (例) It was considered impossible for anyone to reach the top. * この例に対応する 'consider' の文型情報は以下の通りである。 EVIT0;EVSC0;EVC20;EVSI7;EVEXPASS
EVSA1	"there構文: 主語の位置に there を伴う構文 (例: go, seem, appear) " (例) There seems to be a misunderstanding. * EVSI5-7は、次版にて追加する。 (注: EVSI1-EVSA1については、取りうる構文を全て併記する。)
EVTH2	that-節全体が so と置き換え可 (例) He believed that he could run the hundred meter dash in under nine seconds. -> He believed so.
EVTH3	that-節全体が notと置き換え可 (例) He believed that he could run the hundred meter dash in under nine seconds. -> He believed not. (注: 該当する場合に記述される。)

表3-10 英語の動詞の文法属性・文型情報 (続き)

文法属性

コード	説明
EVNOPASS	受身不可 (例) He lacks motivation. * Motivation is lacked by him. (以下、*は不適格文であることを示す)
EVEXPASS	必ず受身形で用いられる (例) John was said to be a good teacher. * They said him to be a good teacher.
EVNOPRG	進行形不可 (例) * I am knowing him for a long time.
EVEXPRG	必ず進行形で用いられる (例) The baby is teething.

(注) 必ず併記される組合せ

- [EVI00]→[EVD00]
- [EVOC0]→[EVD00]
- [EVD00]→[EVD01-9]のうちどれか一つ
- [EVSC0]→[EVC10-93]のうちどれか一つ
- [EVOC0]→[EVC10-93]のうちどれか一つ
- [EVSA0]→[EVSA2-6]のうちどれか一つ
- [EVSA2]→特定前置詞指示コード

(注) 必須の文型情報

動詞の文型に関する必須の情報として、以下の組み合わせのうちのいずれかが記述される。

- | | |
|------------|---|
| (1) SV | [EVIT0] |
| (例) | He smokes. |
| (2) SV+ADV | [EVIT0]+[EVSA0]+[EVSA2-6] |
| (例) | EVSA2 We drank to his good health. |
| | EVSA4 They are staying over there. |
| | He behaved poorly. |
| | EVSA5 He agreed to help the students. |
| | EVSA6 The waves continued breaking. |
| (3) SVC | [EVIT0]+[EVSC0]+[EVC10-93] |
| (例) | EVC10 She became a famous artist. |
| | ECV20 The lion seemed restless and impatient. |
| | The lion became restless. |
| | ECV30 He seemed to be a good doctor. |
| | ECV40 He seems to be relaxed. |
| | ECV50 * no example available * |

表3-10 英語の動詞の文法属性・文型情報 (続き)

ECV60	She appears to have left for the day.
ECV70	He got trapped.
ECV80	* no example available *
ECV91	He behaved like a fool.
ECV92	He masqueraded as a police officer.
ECV93	* no example available *
(4) SVC+ADV	[EVIT0]+[EVSCO]+[EVC10-93]+[EVSA0]+[EVSA2-6] このパターンも記述可能だが、実際に必須要素としてこのパターンを取る動詞はありそうもない。
(5) SVO (例)	[EVD00]+[EVD01-9] EVD01 She stopped the car. EVD02 Everyone hoped (that) the war would soon come to an end. EVD03 I don't know if we will be able to go. EVD04 The hamster discovered how to open his cage. EVD05 I helped clean the windows. EVD06 Mary hates to wake up early. EVD07 He enjoys seeing movies. EVD08 They want us to move. EVD09 The company dislikes the workers showing up late.
(6) SVO+ADV (例)	[EVD00]+[EVD01-9]+[EVSA0]+[EVSA2-6] EVD01;EVSA2 I explained the details to him. EVD01;EVSA4 Please put these boxes over there. EVD01;EVSA5 He brought his wife to see the doctor. EVD01;EVSA6 I caught the child stealing strawberries. ([EVD02-9]と[EVS2-6]の組み合わせもありうる。)
(7) SV00 (例)	[EVI00]+([EVI01-2])+[EVD00]+[EVD01-9] EVD01;EVI01 He gave the foundation a generous contribution. EVD01;EVI02 He bought the children a rocking horse. EVD01 He allowed me a choice. EVD02 The lawyer convinced the jury (that) the accused was guilty. EVD03 Tell the doctor who we should call. EVD04 Tell me what to do next. EVD05 * no example available * EVD06 I persuaded the boss to give the workers a raise. EVD07 * no example available * ([EVI01-2]と[EVD01-9]の組み合わせもありうる。)

表3-10 英語の動詞の文法属性・文型情報 (続き)

- (8) SVOO+ADV [EVI00]+([EVI01-2])+[EVD00]+[EVD01-9]+[EVSA0]+[EVSA2-6]
このパターンも記述可能だが、実際に必須要素としてこのパターンを取る動詞はありそうもない。
- (9) SVOC [EVD00]+[EVD01-9]+[EVOC0]+[EVC10-93]
EVD01;EVC10 The town has elected you its mayor.
EVD01;EVC20 The long walk made her hungry.
EVD01;EVC30 John believed the stranger to be a policeman.
EVD01;EVC40 The newscaster reported the traffic to be heavy.
EVD01;EVC50 The glasses help him see.
EVD01;EVC60 They expected the doctors to find the cure.
EVD01;EVC70 I want this room cleaned immediately.
EVD01;EVC80 I saw the girls cheating.
EVD01;EVC91 She treats us like children.
EVD01;EVC92 They treated him as a king.
EVD01;EVC93 They took him for a fool.
([EVD02-9]と[EVC10-93]の組み合わせもありうる。)
- (10) SVOC+ADV [EVD00]+[EVD01-9]+[EVOC0]+[EVC10-93]+[EVSA0]+[EVSA2-6]
このパターンも記述可能だが、実際に必須要素としてこのパターンを取る動詞はありそうもない。

表3-11 英語の名詞の文法属性・文法情報・機能・位置

名詞の文法属性

属性	属性値	説明
可算・不可算	ENC ENU ENUC	可算 不可算 instanceを指す可算の用法がある不可算名詞 (注) いずれか1つが記述される。ENUCのとき、語形情報および右接続属性は可算の用法で語形変化することを想定して記述されるが、それ以外の文法属性は、不可算名詞として記述される。
集合名詞	ENG	集合名詞 (例: people) (注) 該当する場合に記述される。
文法性 (gender)	ENM ENF ENNE ENCM	男性名詞 (例: man) 女性名詞 (例: woman) 中性名詞 (例: book, baby) 通性名詞 (例: student, baby) (注) 該当するものが1つ以上記述される。
動詞との数の一致	ENASG ENAPL ENAHM	常に単数扱い 常に複数扱い 単数扱いと複数扱いのいずれも可 (注) 不可算名詞に対して、いずれか1つが記述される。可算名詞に対しては、単数形がENAHMに該当する場合のみ記述する。
冠詞との共起	ENARF ENWAR ENWDEF ENWINF ENNODEF ENNOINF ENNOAR	冠詞に関する制限なし 必ず冠詞をとる 必ず定冠詞をとる 必ず不定冠詞をとる 定冠詞はとらない 不定冠詞はとらない 常に無冠詞 (注) いずれか1つが記述される。記述されていない場合は、可算名詞の場合はENWAR、不可算名詞の場合はENNOINFと解釈する。
単複に関する制約	ENRQSG ENRQPL	必ず単数形で 必ず複数形で (注) 該当する場合に記述される。

表3-11 英語の名詞の文法属性・文法情報・機能・位置 (続き)

名詞の文型情報

コード	説明
ENCTOCL	内容を示すto-不定詞に修飾される
ENCTHCL	内容を示すthat-節に修飾される (例: fact, belief) (注) 該当する場合に記述される。
ENCPP	特定前置詞句をとる (特定前置詞指示コード*を併記) (注) 該当する場合に特定指示コード (表3-15) とともに記述される。前置詞は、同時に取る・取らないにかかわらず併記される。
ENITTH	補語となり、it-that_構文をとる

名詞の機能・位置

コード	説明
ENPPREN	常に名詞の前
ENPOSTN	常に名詞の後 (注) 該当する場合に記述される。

表3-12 英語の形容詞の文法属性・文法情報・機能・位置

形容詞の文法属性

コード	説明
EANOPOS	原級なし
EANOCMP	比較級なし
EANOSUP	最上級なし (注) 該当する場合に記述される。

形容詞の文型情報

コード	説明
EAUITTH	it-that 構文をとる (注) 該当する場合に記述される。
EACTOCL	内容を示すto-不定詞に修飾される
EACTHCL	内容を示すthat-節に修飾される (注) 該当する場合に記述される。
EACPP	特定前置詞句をとる (特定前置詞指示コード*を併記) (注) 該当する場合に特定指示コード (表3-15) とともに記述される。 前置詞は、同時に取りうるもののみが併記される。同時に取らないものは別レコードに記述される。

形容詞の機能・位置

コード	説明
EAUPR	叙述用法のみ
EAUPREN	限定用法のみで、常に名詞の前
EAUPOSTN	限定用法のみで、常に名詞の後 (注) 該当する場合に記述される

表3-13 英語の限定詞の機能・位置

コード	説明
ETWINF	不定冠詞を前置可
ETNODEF	定冠詞を前置不可 (注) 該当する場合に記述される。
ETMCSG	可算名詞の単数に付く
ETMCPL	可算名詞の複数に付く
ETMU	不可算名詞に付く (注) 該当する場合に記述される。
ETMINFN	不定冠詞を伴う名詞を後置可
ETMDEFN	定冠詞を伴う名詞を後置可 (注) 該当する場合に記述される

表3-14 英語の副詞の文法属性・機能・位置

副詞の文法属性

コード	説明
EDNOPOS	原級なし
EDNOCMP	比較級なし
EDNOSUP	最上級なし (注) 該当する場合に記述される。

副詞の機能・位置

コード	説明
EDPT	前位：主語の前
EDPM	中位：本動詞の直前、またはbe動詞の直後
EDPE	後位：目的語・補語の後、なければ動詞の直後 (注) 該当するものがすべて併記される。
EDMV	動詞を修飾する
EDMADJ	形容詞を修飾する
EDMADV	副詞を修飾する
EDMPP	前置詞句を修飾する
EDMQU	不定代名詞・数詞を修飾する
EDMN	名詞(句)を修飾する
EDMS	文を修飾する (注) 該当するものがすべて併記される

表3-15 英語の特定前置詞指示コード

コード	特定前置詞	コード	特定前置詞
+EABOUT	about	+EOF	of
+EABOVE	above	+EOFF	off
+EACROSS	across	+EON	on
+EAFTER	after	+EONTO	onto
+EAGAINST	against	+EOUT	out
+EALONG	along	+EOVER	over
+EAMONG	among	+EPAST	past
+EAROUND	around	+EPER	per
+EAS	as	+EROUND	round
+EAT	at	+ESINCE	since
+EAWAY	away	+ETHAN	than
+EBEFORE	before	+ETHROUGH	through
+EBEHIND	behind	+ETILL	till
+EBELOW	below	+ETO	to
+EBESIDE	beside	+ETOWARD	toward
+EBETWEEN	between	+EUNDER	under
+EBEYOND	beyond	+EUNTIL	until
+EBY	by	+EUP	up
+EDOWN	down	+EUPON	upon
+EDURING	during	+EWHILE	while
+EEXCEPT	except	+EWITH	with
+EFOR	for	+EWITHIN	within
+EFROM	from	+EWITHOUT	without
+EIN	in	+EAS-TO	as to
+EINTO	into	+EDOWN-TO	down to
+ELIKE	like	+EIN-FRONT-OF	in front of
+ENEAR	near	+EOUT-OF	out of
+ENEXT	next	+EUP-TO	up to

表3-16 英語の前置詞・副詞小辞および前置詞相当語

コード	前置詞相当語	コード	前置詞相当語
ECONCERNING	concerning	EOUT-OF	out of
ECONSIDERING	considering	EPRIOR-TO	prior to
EEXCEPTING	excepting	EUP-TO	up to
EEXCLUDING	excluding	EBY-MEANS-OF	by means of
EFOLLOWING	following	EBY-WAY-OF	by way of
EINCLUDING	including	EIN-FRONT-OF	in front of
EINVOLVING	involving	EIN-RESPECT-TO	in respect to
EPENDING	pending	EIN-TERMS-OF	in terms of
EREGARDING	regarding	EIN-VIEW-OF	in view of
ERESPECTING	respecting	EON-ACCOUNT-OF	on account of
EACCORDING-TO	according to	EON-BEHALF-OF	on behalf of
EALONG-WITH	along with	EON-TOP-OF	on top of
EAS-FOR	as for	EWITH-REGARD-TO	with regard to
EAS-REGARDS	as regards	EFOR-BENEFIT-OF	for the benefit of
EAS-TO	as to	EFOR-PURPOSE-OF	for the purpose of
EBASED-ON	based on	EFOR-SAKE-OF	for the sake of
EBASED-UPON	based upon	EIN-COURSE-OF	in the course of
EBECAUSE-OF	because of	EIN-MATTER-OF	in the matter of
ECONSISTING-OF	consisting of	EIN-MIDDLE-OF	in the middle of
EDOWN-TO	down to	EIN-WAY-OF	in the way of
EDUE-TO	due to	EON-BASIS-OF	on the basis of

表3-17 英語のbe動詞・助動詞および助動詞相当語

コード	機能語	コード	機能語
EABE	be	EASHOULD	should
EACAN	can	EAWILL	will
EACANNOT	cannot	EAWOULD	would
EACOULD	could	EABE-TO	be to
EADO	do	EAHAD-BETTER	had better
EADARE	dare	EAHAVE-TO	have to
EAHAVE	have	EAUGHT-TO	ought to
EAMAY	may	EAUSED-TO	used to
EAMIGHT	might	EABE-ABLE-TO	be able to
EAMUST	must	EABE-ABOUT-TO	be about to
EANEED	need	EABE-GOING-TO	be going to
EASHALL	shall		

表3-18 英語の等位接続詞・等位接続詞相当語・従属接続詞・従属接続詞相当語・
接続副詞・接続副詞相当語

コード	機能語	コード	機能語
ECAFTER	after	ECONLY	only
ECAGAINST	against	ECONCE	once
ECALSO	also	ECOTHERWISE	otherwise
ECAND	and	ECOR	or
ECASAS	as	ECPROVIDED	provided
ECBECAUSE	because	ECPROVIDING	providing
ECBEFORE	before	ECSINCE	since
ECBESIDE	beside	ECSO	so
ECBESIDES	besides	ECSUPPOSE	suppose
ECBOTH	both	ECSUPPOSING	supposing
ECBUT	but	ECTHAN	than
ECDIRECTLY	directly	ECTHAT	that
ECEITHER	either	ECTHEN	then
ECELSE	else	ECTHOUGH	"though, although"
ECEXCEPT	except	ECTILL	"till, until"
ECIF	if	ECUNLESS	unless
ECIMMEDIATELY	immediately	ECWHILE	while
ECINSTANTLY	instantly	ECYET	yet
ECLEST	lest	ECAS-IF	as if
ECLIKE	like	ECAS-THOUGH	as though
ECMOREOVER	moreover	ECEVEN-IF	even if
ECNAMELY	namely	ECEVEN-THOUGH	even though
ECNEITHER	neither	ECIN-ORDER-THAT	in order that
ECNOR	nor	ECSO-THAT	so that
ECNOW	now		

表3-19 英語の関係代名詞・疑問代名詞・関係副詞・疑問副詞

コード	機能語	コード	機能語
ERQHOW	how	ERQWHETHER	whether
ERQTHAT	that	ERQWHICH	which
ERQWEHNEVER	whenever	ERQWHICHEVER	whichever
ERQWHAT	what	ERQWHO	who
ERQWHATSOEVER	whatever	ERQWHOEVER	whoever
ERQWHEN	when	ERQWHOM	whom
ERQWHERE	where	ERQWHOSE	whose
ERQWHEREVER	wherever	ERQWHY	why

表3-20 英語のその他の機能語

コード	機能語	コード	機能語
EFNEVER	never	EFTHAT	that
EFNOT	not	EFTO	to (to不定詞のto)
EFMORE	more	EFNOT-TO	not to
EFMOST	most		

表3-21 用法

用法	コード	説明	例
(省)略語	AB	語形の一部を省いて簡略にした語	NASA
俗語	CN	公式の場の話し言葉や新聞などの出版物で使うのに適さない語	bastard, bitch